



秋葉区「九条の会」事務局
新津教育会館内
新潟市秋葉区善道町2-9-44

Tel 0250-23-0764 Fax 0250-23-0764
<http://9jo.iinaa.net/index.htm>

自衛官の母、憲法違反と国を提訴

南スーダンへの派兵差し止めを

11月30日、自衛官の息子を持つ母親(平和子さん=仮名)が「自衛隊の南スーダンPKO(国連平和維持活動)への派遣は憲法違反」と、派遣差し止めと撤退などを求めて、札幌地裁に提訴しました。自衛隊員の家族として、平和的生存権を侵害され、精神的苦痛を受けたとして国に対して20万円の国家賠償を求めています。

「駆けつけ警護」は、武力行使=憲法違反

訴状では、①各国軍隊が派遣される国連PKOは、本質的に軍事行使であり、自衛隊もその1員として活動することは、憲法9条1項が禁ずる「武力行使」にあたる。

②憲法9条の政府解釈に立っても、自衛隊を海外に派遣することは、自国防衛の範囲を超え、明らかに「専守防衛」に反し、9条2項の「戦力」不保持規定に反する。…と述べている。

秋葉区憲法学習会 130人集まる 11月20日

自民党憲法草案…ねらいは何か

安法法制廃止と立憲主義回復を求める秋葉区平和4団体(新津地区平和を求める連絡会、アフリカへ毛布をおくる会、憲法ネット・戦争させない1000人委員会、秋葉区9条の会)が呼び掛けた秋葉区憲法学習会が、11月20日、新津健康センターで開かれました。

弁護士の金子修さんが、自民党憲法草案と現憲法と比べながら、参加者と話し合いをしました。

自民党案は、日本国憲法の基本原理(国民主権、基本的人権尊重、恒久平和主義)を根本からひっくり返そうとしていることが、講師と参加者のトークの中で明らかになっていきました。



自民党憲法改正草案で将来の日本はどうか？（その1）

改憲勢力は衆参両院で三分の二を超える議席をとったことから改憲に前のめりになっています。今回から何回かに分けて自民党草案をもとにした憲法が発布されたらどんな国になるかを探ってみたいと思います。

まず今回は何故そんなに憲法を改訂したいのか。関係者の本音を見てみましょう！

1、櫻井よしこ氏 2012年4月26日、自由報道協会での記者会見から

- ・ アメリカに作られたこの憲法の価値観は私たちの文化に根差したものではありません。
- ・ 第三章 日本国憲法第10条には「あなたにはこういう権利があります。こういう自由があります」ということがたくさん書かれています。でも権利と自由の裏側には義務と責任があります。しかし第三章には責任と義務はほとんど出てきません（権利が16回、責任と義務が3回という数字をあげて）。
- ・ 第2章 憲法9条と前文 “平和を愛する祖国” “公正と信義” だけで国際社会は成り立っている訳ではありません。（中国、ロシア・・・をあげて）我が国の安全保障に脅威を与えています。脅威があれば国の責任として国土を守るのは当たり前です。でも今の憲法ではそれができません。

2、安倍総理の発言から

- ① 2014年3月4日付、「坂東太郎のよく分かる時事用語」から引用
最高責任者は私だ。政府の答弁に私が責任を持って、
その上で選挙で審判を受ける。

- ② 2000年5月11日衆院憲法審査会での発言要旨
集団的自衛権とは自然権だから憲法を作る前からあるもの。
そもそも集団的自衛権は権利としてはあるけれども行使できない
というのは極めておかしい理論であって、我が国は禁治産者である
ことを宣言するような政府見解だ。

- ③ 2015年3月6日産経新聞の記事より引用

現行憲法を「GHQの素人がたった8日間につくった代物」と発言、更に「原案が（憲法学に精通していないGHQ関係者により）短期間に作成された事実を述べたに過ぎない」と強弁。

- ④ 2014年2月3日、衆院予算委員会の発言

憲法は国家権力を縛るものだという考え方は絶対王権時代の主流的な考えだ。
（今求められているのは）憲法は日本という国の形・理想と未来を語るものではないか。

- ⑤ 2013年7月12日長崎国際テレビのインタビューで（7月15日放送）

我々は9条を改正し、その（自衛隊）存在と役割を明記していく。これがむしろ正しい姿だろう。



3、麻生太郎氏

2013年7月29日、国家基本問題研究所での発言
いつの時からか騒ぎになった。騒がれたら中国も騒がざるを得ない。韓国も騒ぎますよ。だから静かにやろうと。憲法はワイマール憲法が変わってナチス憲法に変わっていったんですよ。誰も気が付かないで変わった。あの手口学んだらどうかね。

- * 櫻井氏の発言は改憲勢力の本音でしょう。
- * ここで取り上げた安倍氏の発言、現行憲法に対する憎悪の感情に基づいています。更には立憲主義も民主主義も思考の外にある発言です。単なる支配者的発想のようです。
- * 改憲を麻生氏は静かに隠れてやろうというのです。怖いことです。

※ 次回からは「草案」の内容について見ていくことにしたいと思います。

